

## 【指導分野】

観光・レクリエーション

こが まなぶ

【氏名】 古賀 学

## 【現職】

松蔭大学観光文化学部教授



## 【略歴】

昭和47年社団法人日本観光協会に入協後、計画調査課長、調査部長、総合研究所長を歴任。平成20年より現職。NPO法人観光文化研究所理事長。日本離島研究会幹事長。東京農業大学造園科学科非常勤講師、立教大学観光学部兼任講師兼務。平成16年11月水源地域対策アドバイザーに就任。

## 【これまでの派遣先】

平成17年度 埼玉県飯能市  
(有間ダム)

平成19年度 広島県東広島市  
(福富ダム)

平成22年度 栃木県日光市  
(湯西川ダム)

## 【他の役職・就任歴等】

内閣府・国土交通省「観光カリスマ百選」の  
選定委員

国交省「観光統計の整備に関する検討懇  
談会

観光庁「観光圏整備事業検討会及び部会  
委員」、離島振興法改正検討会議委員

山梨県観光懇話会委員

新潟県満足度調査委員会委員長等

各種委員会の委員を歴任。

## 【自己紹介】

基本的理念は、地域資源を生かした地域主体の観光振興。富山県南砺市利賀村とは、昭和60年からそばの郷づくり、ネパール・ツクチェ村や韓国とのそばによる交流事業、素人蕎麦打ち最高段位審査委員、南砺市観光大使など、新潟県柏崎市高柳町とは、昭和62年からじよんのび村計画、きつねの夜祭り、そばによる地域振興等を通じて交流を行っています。